

富永議員（自民議連）

平成 27 年 12 月 9 日  
知事答弁実録  
(教育委員会)

(問) グローバルリーダー育成校の設置に向けた支援について

「グローバルリーダー育成校」は、まだ多くの論点があり、今後更に具体的な検討を積み重ねてもらいたいが、やるからには、他県に先駆けて、素晴らしい学校を作ってもらいたいと思っている。

今、日本の将来の見通しについて、全体的に「閉塞感」のようなものが漂っているように感じており、少子高齢化を始め、不安定な雇用、社会構造の不公平感など、日本の将来に関する非常に暗い予測やデータに溢れている。

しかし、これらはいくまでも「予測」や「データ」に過ぎず、私たちが議論し、考えていくべきは、「このような将来が訪れたらどうするか」ということだけではなく、「このような将来が訪れることのないよう、私たちは、今、どのように行動していくべきか」ということではないかと思う。

是正指導以来、本県の教育は飛躍的に改善し、本県の成長・発展の大きな原動力となってきた。そして、今後、本県の将来を切り拓いていく上で、教育は、これまで以上に大切な役割を担うことになると思う。

子供たちは、未来の担い手であり、希望の種であり、社会全体の宝である。

是非、この「グローバルリーダー育成校」を突破口として、全国に先んじて、県全体の「学びの変革」を実現し、ここ広島から、日本の「閉塞感」を打ち破ることを願う。

この「グローバルリーダー育成校」の設置に向けては、教育委員会のみならず、県を挙げて取り組んでいくことが必要であるが、予算編成権及び総合調整権を持つ知事として、今後、いつ頃の開校を目指し、どのように支援していくつもりなのか、知事に伺う。

(答)

私といたしましても、この「グローバルリーダー育成校」には大変期待をしているところであり、教育委員会と十分連携しながら、日本一、世界一の学校を、ここ広島に作りたいと考えております。

開校年度につきましては、出来る限り早いことが望ましいと考えておりますが、教育委員会からは、施設の整備や物理的な制約などを踏まえると、最短のスケジュールで、平成 30 年度開校になるものと聞いているところでござ

ざいます。

今後、議会とも十分協議させていただきつつ、この平成30年度をひとつの目標として、県が一丸となって検討・準備を進めていく必要があると考えており、私といたしましても、学校の設置はもとより、その先にある全県的な「学びの変革」の実現に向けて、教育委員会の取組を最大限支援してまいりたいと考えております。